



『未来を拓く礎を』第5号

学校長 若林 富男

夏休みにしかできないことを

関東甲信地方が梅雨明けし、本格的な夏の始まりです。明日から子どもたちは、待ちに待った夏休みに入ります。けがや病気、くれぐれも事故等がないように留意し、ご家族そろって楽しい夏休みをお過ごしください。安全で健康的な生活をするために、全校朝会で過ごし方の話をしました。本日配布の学校からのお知らせ「夏休みの暮らしについて」をよくお読みください。

子どもたちに「夏休みには夏休みにしかできないことをしましょう。何をしますか?」と問いかけると「旅行」「宿題」「読書」「プール」などと元気に答えてくれました。夏休み中には「本をたくさん読むこと」「はがきや手紙を書くこと」「自由研究をすること」などに、進んで取り組んでみましょう。「1年生の夏」「2年生の夏」「3年生の夏」を印象づけることに挑戦してほしいものです。

はがきを書こう

40日を超える長い夏休み中、小学校の担任の先生や幼稚園・保育園の先生、祖父母や親戚の方に暑中見舞いや残暑見舞いなどのお便りを書きましょう。通常の絵だより活動（1年生は2学期から）や、はがきを書く学習（3年生国語科）を生かして、お便りを書くことは、生きたことばの学習になります。手紙を書くことは作文力の向上につながります。相手と目的（一番伝えたいこと）をはっきりさせて、子どもの直筆の文と絵でかいてみましょう。挨拶文が印刷されているはがきには必ず「夏のひとこと」の添え書きが入るといいですね。数年前の残暑見舞い状の「元気は多めに電気は少なめに夏休みを楽しんでいます。」という添え書きは、今でも心に残っています。なお、表の宛名書きは、低学年の場合、仕分けや配達の方の迷惑とならないように、保護者の仕事としていいでしょう。受け取った方の笑顔を思い浮かべて、お便りを書いてみましょう。

自由課題にチャレンジを

夏休みの自由課題を一覧表にして配布いたしました。過負担にならないように配慮しながらも、得意分野でチャレンジしてみましょう。本校には国語系（作文、俳句、習字等）、図工系（絵画、ポスター、工作等）、音楽系（ピアノ、バイオリン等）、スポーツ系（水泳、体操、ダンス等）、自由研究系（生活科、理科、社会等）で、優れた才能を持っている子や今後の可能性を秘めている子がたくさんいます。学校を通して応募するものと、各ご家庭（個人）で応募するものがあります。優秀な賞をいただいた場合、全校朝会で表彰いたします。そして、学校だよりやHP等で紹介させていただきます。

<諸連絡>

◇夏休み中の学校の状況をお知らせいたします。サマースクールの欠席や登下校の方法の変更、学童の追加等の電話連絡は、7時40分以降にお願いいたします。詳細は今一度、7月10日付のお知らせでご確認ください。8月12日（水）から18日（火）までは完全休業日となります。教員は8月1日までは原則として全員勤務しておりますが、8月2日より8月末までは、ほとんど不在となりますので、ご承知おきください。なお、休日や夜間及び完全休業日に、事故や事件等の緊急連絡がございましたら、学校の携帯電話（番号は学校だより4月号参照、松下副校長所持）に、ご連絡をお願いいたします。

◇夏休み中、休日を除くほぼ毎日にわたり校舎4階の建設工事を実施します。サマースクールやイベント（転編入学試験や学校説明会）に支障のないように行いますが、通用門から工事関係車両の出入りがございますので、ご承知おきください。